

事業概要：始動人輩出のための教育イノベーション

継続

申請者	群馬県ほか 3 自治体					初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	815,354千円 (177,244千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	「STEAM教育」の導入や教育課程外の新たな学びの提供により本県の公教育のアップデートを図るとともに、持続可能な地域を支える人材育成のためのリカレント教育の実施により、『始動人』（＝自分の頭で未来を考え、動き出し、生き抜く力を持った人）を育成・発掘する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 学習指導要領に基づく教育システムから、多様性を重視した人材育成への転換を図り、若年世代の「始動人」を輩出することを目指す。また、現役世代のマインドセットの転換に向け、ロールモデルの発信やカンファレンスの実施を通じて「始動」に向けた機運を醸成する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○公教育のアップデートによる若年世代の始動人育成 ・自ら課題を設定し立ち向かう力を養成する場の提供（委託料等） 54,906千円 ・課外活動の改革による多様な学びの機会と交流の創出（委託料） 20,630千円 ○リカレント層へのアプローチによる現役世代の始動人育成 ・始動人育成に向けたマインドセットの転換支援（委託料等） 80,000千円 ・官民共創コミュニティの育成（委託料等） 14,108千円 ・婦恋村シティプロモーション（委託料） 7,600千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①官民共創コミュニティから生まれた共創の取組件数（+55件） ②地域ICTクラブ等で講座を受講した児童の数（+610人） ③ICTリテラシーが身についたと感じる生徒の割合（+3.5%） ④中高生向け課題解決型学習プログラム修了者（+81人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

事業概要：多様な交流が生み出す地域の活性化

継続

申請者	群馬県ほか 3 自治体					初回採択回	令和 5 年度第 1 回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	959,091千円 (218,932千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整備 事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	誰もが集い、交流し、にぎわいが創出される場所を県庁舎31階に設置し、群馬県の持続的な成長を図る。 ローカルビジネスの魅力発信によるシビックプライドの向上、他地域コラボによる関係人口の創出を図る。 高度化したメディアミックスによる群馬県の広告宣伝強化により、県ブランドイメージの向上、インバウンドを含む観光客の増加、移住・定住者の増加、県産品の販売額増加等を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県庁舎31階を交流拠点として整備し、県産食材の魅力発信や創造性を高めるとともに、イベントや広報を通じてにぎわいの波及と関係人口の形成、発信力強化を図る。 ・地域商品のブランド確立において、商品開発や価格形成、販路拡大まで一体的に展開し、具体的な成果として結び付けていく。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○県庁31階（マルシェ&キッチン）運営 ・管理運営（委託費）32,730千円 ・交流事業（委託費等）15,254千円 ○ぐんまちゃんyoutube企画 ・ぐんまちゃんによるブランド化及びイメージアップ（委託費）50,000千円 ○メディアミックス戦略高度化事業 ・広告代理店等委託（委託料）88,436千円 ・データ分析等（委託料）7,742千円 ○メディア連携推進 ・メディアへのアプローチ（委託費、役務費、使賃料）24,770千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①一人あたりの県民所得（+56.2千円） ②県庁31階来場者数（+13万人） ③県庁31階からの広報発信数（+554件） ④県庁31階出展者数（+540件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

申請者	群馬県ほか2自治体※					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	498,196千円 (108,245千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・農畜産物の輸出に取り組む生産者の掘り起こし、育成及び支援を一体的に実施する。 ・消費者が県内外で食し触れられる環境をつくり、販売促進・ブランド力の向上を図る。 ・地域ブランド商品の海外への訴求や展開を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域ブランド商品の生産・販売を担う人材育成と輸出支援を進め、EC展開や有機農産物の販路拡大によりブランド力を強化する。また、国内外でのプロモーションや新市場開拓を通じて販路を多角化し、県産品の認知度向上と地域経済の好循環を実現する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○人材の育成 ・新たに輸出に取り組む生産者・事業者等の育成 7,708千円 ○地域商品のブランド確立 ・県産農畜産物ブランド力強化対策 37,010千円 ・有機農産物PR（委託費等）10,550千円 ・産業観光モニターツアー（委託費等）1,760千円 ・有機農産物の生産・消費拡大（補助金等）220千円 ○事業の国内外への展開と本県の知名度向上 ・県産農産物等輸出促進（委託費等）39,957千円 ・国際見本市出展支援等（補助金等）12,800千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+26,452千人） ②有機JAS認証の取得面積（+111ha） ③地産地消優良店の店舗数増大（+42店舗） ④県産農畜産物等輸出実績（+10.9億円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

※群馬県、沼田市、昭和村の広域連携事業

事業概要：温泉文化の振興を呼び水とした地場産業・地域の活性化事業

継続

申請者	群馬県ほか 2 自治体※					初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	651,979千円 (293,863千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ユネスコ無形文化遺産登録への機運醸成とともに、温泉文化の高付加価値化を図る ・関連産業に頼らない地場産業を構築するため、地場製品のブランド力・認知度を向上させ、ファン獲得を図る ・新たな外国人材の受入スキームを構築し、温泉地・地場産業の持続性確保を図る						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた機運醸成事業の展開、さらに温泉文化の振興を呼び水に、関係人口の増加による地場産業の活力向上や地域の賑わい創出を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録推進事業 ・機運醸成事業（委託費等）125,478千円 ・温泉文化調査研究（委託費等）2,000千円 ・温泉文化の振興に係る普及啓発事業（負担金等） 6,000千円 ○地場産業・地域の活性化事業 ・地域の稼ぐ力向上支援事業（委託費等）76,530千円 ・地場産業を支える担い手確保事業（委託費等）4,542千円 ・農畜水産物のブランド力向上事業（委託費等）55,313千円 ・温泉地コラボ大規模イベント（委託費） 24,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（+272人） ②主要温泉地観光入込客数（+135万人） ③開催イベント参加者数（+19,200人） ④群馬県内の上州地鶏指定店舗数（+11店舗）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

※群馬県、中之条町、鳥取県の広域連携事業

事業概要：日本最先端クラスのデジタル県推進事業

旧制度（推進）

申請者	群馬県、桐生市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R10年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,357,694千円 (514,685千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・先駆型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・産業のデジタル化とデジタルクリエイティブ人材の育成等により、日本最先端クラスのデジタル県を目指す ・国際的に評価の高いアルメニアのTUMOセンターを、アジアで初めて、群馬県に整備する ・TUMO Gunmaとして、群馬県独自の最先端の教育プログラムを提供し、デジタルクリエイティブ人材を育成する ・デジタルやクリエイティブな取組を招致し、デジタルクリエイティブ産業の集積を図る		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 TUMO・Gunmaの本格稼働初年度を踏まえて、より効果的なデジタルクリエイティブ人材の育成を進めるほか、産業のデジタル化に向けた官民協働による未来共創プロジェクトを実施する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタルクリエイティブ人材の育成、デジタルリテラシーの向上 ・TUMO Gunma開設・運営（委託費等） 288,627千円 ・映像クリエイター作品制作支援（委託費等） 28,191千円 ・サテライト施設の運営費用（委託料等） 136,766千円 ・デジタルリテラシー向上に係るイベント等開催（委託費等） 4,565千円 ・Gメッセ群馬施設整備計画策定の実施費等（委託費・外部委員会運営費等） 55,462千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのUIターン就職者数（+10,300人） ②デジタルクリエイティブ企業の進出数（+23社） ③共創プロジェクト組成数（+30件） ④年間利用者数（+101,390人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

事業概要：県民総活躍の未来をつくる若手人材の確保・育成事業

旧制度（推進）

申請者	群馬県、前橋市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	571,323千円 （193,764千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	特に若手人材に着目して、群馬県への流入、ポジティブな労働移動等を促し、新たな人材の採用や確保を図る。若者の起業・継業意欲の向上、企業によるリスキリングを促しDX人材を育成することで、これからの県内産業を担う人材の確保を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地元で働く若手人材を確保するため、雇用機会の創出やミスマッチ対策、転職支援を行うとともに、企業が必要とするデジタル人材の確保・育成を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 未来を担う若手人材と地元企業との交流機会の創出（委託費等）7,120千円 採用力・情報発信力の強化（委託費）11,260千円 UIターン就職促進（委託費等）29,659千円 企業と若者のマッチング支援拠点の運営（委託費等）18,925千円 産学官連携による地域人材育成・定着支援（委託費等）800千円 若者の起業・継業意欲の向上、課題解決力の育成（委託費）19,000千円 アスリート就職支援 7,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①群馬県へのUIターン数（+5,710人） ②本事業における県内企業の人材確保人数（+3,050人） ③県内企業のリスキリング実施率（+60%） ④ぐんまネクストジェネレーター制度を活用した若者と企業とのマッチング成立件数（+15件）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

事業概要：データを活用した群馬観光の長期滞在化計画

継続

申請者	群馬県ほか 8 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,136,151千円 (823,053千円)
事業分野	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	・データ収集・分析によるターゲット層に応じた効果的なプロモーションを実施し、誘客・消費額の増加を図る。 ・長期滞在化につながるコンテンツの創出・発信により、2泊以上の宿泊者数増加を目指す。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 データの収集・分析を行うことで、ターゲット層に応じた効果的なプロモーションを実施し、県内各地域の観光資源・コンテンツの創出及び磨き上げを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○データに基づく戦略的な誘客 ・DMPによるデータ活用（補助金）等 47,810千円 ○長期滞在化につながるコンテンツ創出・発信 ・リトリートブランド構築（委託料）等 413,518千円 ○エンタメ作品に関連した誘客促進 ・ぐんまちゃんをフックにしたプロモーション（委託料）等 203,563千円 ○多様なニーズを取り込む新市場開発 ・ペットツーリズム推進（委託料）等 114,108千円 ○シームレスな移動を実現する環境整備 ・GunMaaSアプリの機能拡張（委託料）等 44,054千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①群馬県内における旅行消費額総額（+ 2,300億円） ②群馬県内における2泊以上の実宿泊者数（+ 117万人） ③日本人旅行消費額単価（+ 10,000円） ④外国人旅行消費額単価（+ 24,750円） ⑤GunMaaS月平均利用件数（+ 7,500件） ⑥ぐんまフラワーパーク入園者数（+ 180,078人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

※群馬県、前橋市、館林市、中之条町、片品村、沼田市、渋川市、高山村、東吾妻町の広域連携事業

事業概要：群馬モデルグリーンイノベーション創出プロジェクト

継続

申請者	群馬県、沼田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	444,157千円 (119,508千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	農林業や製造業などの重点分野や、カーボンニュートラルやサーキュラーエコノミー、ネイチャーポジティブといった環境の領域で、地域の課題解決や新たな価値創出につながるローカルイノベーションを促進する。 ローカルイノベーションを創出することにより、需要と供給のマッチング等を進め、新たな産業の創出等につなげる。 新たな産業の創出等による企業の進出等に伴い、新規雇用数や移住者は増加し、そのことにより、持続可能な地域社会、すなわち「環境／経済／社会」がよりよく発展する自立分散型の社会の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 グリーンイノベーション創出の素地をつくり、県内で具体的事業を組成する。事業者を県内に呼び込むため、効果的な情報発信を行う。 また、重点分野のグリーンイノベーションを推進する。					 「グリーンイノベーション群馬戦略2035」では 新・群馬県総合計画（ビジョン）が示した 「ドーナツ経済学」のコンセプトである持続的な成長の理念に基づき 「環境／経済／社会」がよりよく発展し 環境と地域の持続可能性を実現するための具体的な戦略を立案する	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○グリーンイノベーション×パブリックリレーションズによる社会変革 ・グリーンイノベーション創出のための素地づくり 2,712千円 ・グリーンイノベーション創出の取組 17,596千円 ・新たなチャレンジを呼び込む効果的な情報発信 11,200千円 ○重点分野と新たな領域に集中したグリーンイノベーション推進 ・農業・林業の変革の取組 62,300千円 ・製造業の変革の取組 10,000千円 ・新たな領域でのグリーンイノベーションへの挑戦等 15,700千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規雇用者数（+75人） ②環境負荷低減事業活動計画認定数（+390者） ③素材生産量（+50千m3） ④経営事項にネイチャーポジティブに関する内容が取り入れられている県内企業数（+100社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

事業概要：若者・子育て世代を中心とした「ぐんま暮らし」推進

継続

申請者	群馬県ほか 4 自治体※					初回採択回	令和 7 年度第 1 回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	911,664千円 (322,678千円)
事業類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事業		
目的・効果	子育て・生活環境等の情報発信や移住後の暮らし体験事業等により、若者・子育て世代を中心とした移住を促進する。 日本人県民・外国人県民の双方が暮らしやすい環境づくりを行い、国籍にかかわらず活躍できる地域の実現を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 若者・子育て世代を主なターゲットとした移住に関する相談会・セミナー等を実施するとともに、移住後の子育て環境や生活環境等の具体的なイメージを持ってもらうため、若者向けの情報発信や、暮らし体験等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 若者・子育て世代をターゲットとした移住促進 ・移住PR・相談拠点設置（委託料）等 93,140千円 移住後の「ぐんま暮らし」提案 ・地域の魅力発掘、移住体験事業（委託料等）187,248千円 日本人県民と外国人県民との相互理解促進 ・多文化交流イベント開催（委託料）等 18,362千円 若者・子育て世代が移住しやすい環境・こどもの居場所づくり ・子どもの居場所づくり・体験創出モデル構築（委託料等）等 23,928千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 他県から群馬県への移住者数（+ 391人） ② 県及び県内35市町村と連携し移住をテーマに制作したショート動画の総再生回数（+ 300万回） ③ 日本人県民と積極的に関わりたいと思う外国人県民の割合（+12.4%） ④ こどもの居場所づくり実施箇所数（+ 20箇所） ⑤ 日本語コミュニケーション支援セミナー開催日数（+ 15日）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

※群馬県、前橋市、桐生市、中之条町、川場村の広域連携事業

事業概要：選ばれる「ぐんまブランド」育成プロジェクト

継続

申請者	群馬県、中之条町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,747,815千円 (487,973千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	担い手不足や稼ぐ力不足といった農業分野の課題解決による持続可能な農業の基盤構築と発展を目指す。いちごの試験研究に関連する施設を整備し、技術開発や実技研修を通じて生産者の経営安定に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 担い手不足と稼ぐ力の不足という農業の課題解決に向け、担い手の育成・支援や新技術の導入、企業参入の促進、高付加価値化を進め、農業の持続可能な基盤構築と生産者の経営安定化を図る。拠点整備事業では調査棟兼資材庫の改修を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・担い手の確保・生産体制の整備（委託料・補助金等）51,892千円 ・新技術による生産性向上とブランド化（委託料等）97,246千円 ・PR・販売促進（委託料等）39,128千円 ・ニーズ研究・調査（委託料）2,000千円 ・群馬版スーパーフード及び農産物粉末の分析・開発（機器購入）3,710千円 ・こんにゃく需給安定対策（補助金）16,200千円 ・スマート農業人材育成推進（機器購入）628千円 ・データに基づく農業者への技術対策指導（機器購入）274千円 ○拠点整備事業 ・調査棟兼資材庫 施設整備 276,895千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+28億円） ②新規就農者数（45歳未満）（+1,245人） ③群馬県産農畜水産物の消費者認知度（+12.20%） ④施設園芸における環境制御技術導入農家数（+70戸） ⑤スマート農業技術等に関する新技術開発（+17件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

申請者	群馬県、嬭恋村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	877,464千円 (415,695千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・幅広い産業分野におけるイノベーションを加速させることで、新規就労者数の増加を目指す。 ・多様化した地域課題に対して、地域の担い手の発掘や官民の連携強化、スタートアップとの協業により、地域経済の発展、社会基盤の維持を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県の地域経済を維持するため、県内企業の経営力強化を図る取組を実施するとともに、スタートアップとイノベーションの推進を目指し、県民及び企業と多様な主体の担い手を掘り起こす取組を実施する。拠点整備事業では「NETSUGEN」拡張を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・県内企業の経営力強化事業 ・県内企業の事業継続力強化（委託料等）等 29,078千円 ・スタートアップ・イノベーション推進事業 ・多様な主体のネットワーク化・マッチング（委託料等）等 111,030千円 ・地域におけるイノベーション創出事業 ・地域課題解決や県内企業とのイノベーションのためのスタートアップ・創業支援事業（委託料）等 58,407千円 ○拠点整備事業 ・「NETSUGEN」拡張 ・建築物本体工事 117,810千円 ・建築物と不可分な設備工事 74,470千円 ・工事監理費 13,200千円 ・備品費 11,700千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規雇用者数（+364人） ②共創プロジェクトの創出件数（+50件） ③企業とスタートアップのマッチング数（+160件） ④デジタル技術を活用した新しい地域課題取組件数（+39件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

事業概要：デジタル・クリエイティブ産業エコシステム構築に向けた未来投資

継続

申請者	群馬県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	410,006千円 (142,456千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタルクリエイティブを学ぶ子どもたちが大学生世代以上になってもさらに専門的に地域で学び続けることができる新たな人材育成機関を開設し、一気通貫の人材育成体制を構築することで、群馬県経済をけん引するデジタル・クリエイティブ産業のエコシステム構築を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 小学生～高校生を対象とする「tsukurun」、「TUMO Gunma」の次の展開として、子どもたちが大学生世代以上になっても地域で学び続ける環境を整備し、さらに高度な人材輩出・集積によるクリエイティブ関連企業集積につなげることを目的に、新たな人材育成機関の開設を目指す。基礎調査等を踏まえた構想検討を行った後に、カリキュラム等詳細な計画を策定する。それに当たり、調査・分析支援、先進的教育機関等からの監修を受けるほか、試行的講座や有識者会議を開催する。得られた知見・意見を活かし、R9年度開設に向けた準備を進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 新規人材育成機関構想検討（委託料、事務費）142,456千円 カリキュラム・受講者ターゲット・形態・設備・講師候補者等を含む詳細まで検討した計画を策定するため、専門的知見を有する調査会社による調査・分析を行うほか、海外の先進教育機関を想定した監修を受ける。 併せて、R7年度のパイロット事業からさらに実践に近い形で「ブレ開設」として試行的講座を拡充するとともに、産業界の第一人者で構成される有識者会議を開催し産業界のニーズ等に関する意見を反映させることで、トップレベルの人材を育成する新規教育機関に向けた準備を進める。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	① 県内出身大学生等のUターン就職率（+8%） ② 「新規人材育成機関」受講者のうちクリエイティブ産業就業者数（+170人） ③ 「新規人材育成機関」受講者のうち意識に変化があった受講者割合（+90%） ④ 「新規人材育成機関」受講者数（+400人） ⑤ 連携企業・教育機関等の数（+10団体）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

事業概要：養蚕農家を支える技術の再構築と新しい展開

継続

申請者	群馬県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,153,673千円 (60,753千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	蚕糸絹業を維持・発展させていくため、繭、生糸、絹製品が一貫して群馬県内で生産された県産シルク製品の付加価値を高めて需要喚起を図る。蚕種の増産と高品質化を図り、安定的に農家に供給する体制を整える。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 群馬県の蚕糸絹業の維持発展を目指し、県産シルク製品の付加価値向上、新市場開拓、技術継承、蚕種や稚蚕の安定供給体制整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・新「ぐんまシルク」製品販売促進事業 ・認定製品の知名度向上事業（印刷費等）236千円 「ぐんまシルク」製品の販売力強化に向けたブランディングセミナー 980千円 ・猛暑・蚕病対策事業 稚蚕飼育指導の経費補助（補助金）等 2,311千円 ・養蚕農家を支える技術の再構築と新しい展開 調査研究 等 11,766千円 ○拠点整備事業 ・人工飼料育研究棟整備、原蚕種飼育蚕室を新たに整備 施設整備 45,460千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業産出額（+32億円） ②関連施設観光客数（+43,334人） ③県内繭生産量（+6.9トン） ④「なつこ」飼育量（+46.5万頭） ⑤群馬オリジナル蚕品種普及率（+10%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

申請者	群馬県、中之条町						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	209,817千円 (67,739千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	人口減少や産業構造の変化が進む中、異分野連携と創造性を生むアートの力を活用し、地域の付加価値創出と企業の競争力強化を図る。企業とクリエイターの協業や県民のアート体験機会を拡大し、若年層やクリエイティブ人材の定住や交流を促進する。メディア芸術の振興を通じてクリエイティブ人材を育成し、地域経済の活性化と持続的な価値創造につながる好循環を形成する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 企業とアーティストの協業を促進し、地域資源を活かした付加価値創出や企業イメージ向上、人材確保につなげる。あわせて県民・子ども・企業がアートに触れる機会を広げ、多様な発想を育む人材を育成し、文化的需要を高める。さらに、メディア芸術の制作体験や発表機会を拡充し、若者の呼び込みとデジタルクリエイティブ産業の成長を後押しし、地域発コンテンツの創出と産業化を進める。							
	【R8年度事業 経費内訳】							
	アート活用による地域価値創出（補助金・委託料）17,000千円 アート体験機会の創出（委託料・負担金等）35,300千円 メディア芸術振興による地域活性化とクリエイティブ人材の育成（委託料・人件費）14,439千円 分析・研究・調査（委託料）1,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（+294人） ②地域における新規雇用者数（+75人） ③アートを活用した地域活性化に取り組む地域（官民を問わず、アーティスト・イン・レジデンスに取り組む地域）（+3市町村） ④プロクリエイター講師によるデジタル制作ワークショップ参加者数（+70人） ⑤マンガ・アニメ・イラスト等作品コンテスト応募者数（+210人）						URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html

事業概要：クリエイティブシティ構想の実現による未来型都市モデル構築事業

新規

申請者	群馬県、前橋市					初回採択回	令和8年1月募集	
事業計画期間	R8-R13年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,229,626千円 (118,434千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	県庁前から前橋駅に至るメインストリートの人と公共交通を中心としたウォークアブルな都市空間として再構築し、回遊性向上と交流人口の創出を図る。道路空間、拠点空間、ソフト施策を一体的に推進することで、滞在・交流・消費が連続的に生まれる中心市街地を形成し、地域経済の活性化につなげる。 次世代モビリティと調和した移動環境の整備を通じて自家用車依存型の都市構造からの転換を促進し、県都・前橋市を核とした持続可能な地方創生モデルの確立を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 県庁前から前橋駅に至るメインストリートを軸に、道路空間・拠点空間・ソフト施策を一体的に整備し、人と公共交通を中心としたウォークアブルな都市空間へ再構築する。アートやイベント、社会実験を通じて人の流れと滞在を創出するとともに、モビリティハブの整備や次世代モビリティの導入により自動車依存からの転換を促進し、中心市街地の賑わい再生と地域経済の好循環創出を目指す。 本計画は、インフラ整備（駅前通り）と拠点整備（県民広場）を対象とする。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・トランジットモール化に関する社会実験（委託料）35,000千円 ・アート×若者による中心市街地周遊促進（委託料等）83,434千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+3,360人） ②前橋市中心市街地における歩行者通行量（+3,202人） ③前橋市中心市街地における新規出店者数（+18者） ④前橋市中心市街地周辺の地価（+3,906円） ⑤前橋市中心市街地における民間主催イベントの開催数（+21回） ⑥前橋市中心市街地における観光消費額（+30千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.gunma.jp/page/608610.html	

事業概要：地域産業全体の生産性向上とDXを推進する先端IT人材育成事業

旧制度（推進）

申請者	群馬県前橋市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	180,830千円 (33,406千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・事業者のマインドセットの変革として、DXの推進体制づくりにより新しい挑戦を促し、挑戦を継続できる環境を整える。 ・「デジタル技術等の導入を通じた業務変革の推進」により、市内事業者のDX推進をソフトハードの両面からサポート。 ・「先端IT分野を軸とした創業支援事業」によりデジタル技術等の急激な技術革新に柔軟に対応できる新たな産業を生み出し、既存産業とのマッチングにより、さらなる新しい価値を創造。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 企業の高収益化を目指し、セミナーやOB派遣によるハンズオン支援を実施するとともに、デジタル技術導入への補助によるハード面支援を実施する。また、先端IT分野に特化した創業支援として短期集中型プログラムを新設し、既存企業とスタートアップのマッチングを促進し新産業創出を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト・ハード両面からのDX推進 ・ソフト：御用聞き型業務改善サポート事業（委託料）4,000千円 ・ハード：DX推進補助金（補助金）20,000千円 ○先端IT分野を軸とした新産業育成とマッチングシステムの構築 ・前橋市創業センターにおけるセミナー（委託料）4,536千円 ・創業支援塾＋起業家交流会（委託料）550千円 ・短期集中プログラム専門家謝金（委託料）1,320千円 ・マッチング支援事業（負担金、消耗品、郵送費）3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①デジタル技術の活用等により生産性が向上した事業者数（+262.5社） ②改善活動のハンズオン支援を受け生産性が向上したことを、アンケート調査により確認できた事業者数（+70社） ③創業支援による創業実現率（+5%） ④ビジネスマッチング事業参加者数（+550人）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/seisakusuishin/gyomu/5/2/3255.html

事業概要：デジタル共生社会に向けた地域デジタル環境整備事業

継続

申請者	群馬県前橋市					初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	154,954千円 (28,086千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	地域小売店や中小企業におけるDXを推進する 地域団体のためのデジタル環境を整備する 各小売店舗や地域団体にアクセスすることになる「市民の抱えるデジタルデバйд解消」に取り組む 本市のデジタル共生社会を構築を通じて、地域の魅力向上と地方創生を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民ボランティアを養成し、地域のデジタルデバйд解消を支援する。地域拠点にタブレットを貸与し、タブレット活用の促進と利活用方法の高度化を図り、将来的なコミュニティビジネスの萌芽を育む。また、市民向けにデジタルデバйдの解消を目的としたICTツール講座を開催する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタルサポーター事業 （1）まえばしデジタルサポーター事業運営委託費 12,000千円 ○地域デジタル拠点整備事業 （1）タブレット通信料(自治会284台+市民協働課4台)7,086千円 （2）タブレット管理費（284自治会分） 3,408千円 （3）市内16公民館用情報関連消耗品 1,092千円 （4）老人福祉センター7か所wi-fi賃借料 500千円 ○市民向けデジタルデバйд（DD）解消事業 （1）ICTツール講座委託料 4,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタル庁LWC指標の「暮らしやすさ」指標のうち、市民のデジタル生活を測定するための「デジタル生活指数」（客観指標）（+66） ②前橋デジタルサポーター（DS）の登録者数（+450人） ③デジタルサポーター（DS）による講習参加者数（+5,000人） ④デジタルよろず相談所での相談件数／悩み解消件数（+1,000件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/seisakusuishin/gyomu/5/2/3255.html

申請者	群馬県前橋市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	76,626千円 (25,942千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・データに基づいたマーケティングを主体とする経営体制を整え、効率的かつ効果的な観光を活用した地域経営を実践する。 ・取得したデータを基に前橋・赤城の観光ブランドを構築し、当該観光ブランドを地域全体で一体となって推進する。 ・選ばれる観光地・稼ぐ力をもつ地域を目指し、交流人口や観光消費額を増加させ「持続可能な観光を活用した地域経営体制」を築く。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 データドリブン経営の手法を取り入れ、DMOがデータ活用やデジタル化によって得られた成果を民間の事業者等とも共有することで、観光のDX化を推進する。また、データ活用し、赤城山における観光ブランドの前橋・赤城観光ブランドの構築、普及・定着を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○データドリブン経営体制構築事業 ・データドリブン計画策定（委託料）3,900千円 ・システム導入・維持管理（使用料）1,440千円 ・データ収集（使用料）800千円 ・研修（研修・視察費）360千円 ○前橋赤城観光ブランド構築・推進事業 ・ブランド推進体制構築（推進主体組成・活動経費）790千円 ・伴走支援委託費（委託費）1,000千円 ・コンテンツ造成（試作・実証経費）2,320千円 ・プロモーション戦略実行（広報・PR経費）3,200千円 ・管理経費及び人件費（コンベンション協会人件費）7,532千円						
主なKPI	①地域における観光消費額（+7.5億円） ②データ活用協定事業者数（+60件） ③本事業で造成したコンテンツへの参加人数（ウェルネスツーリズム＋赤城山ファンづくり）（+650人） ④作成したプロモーション動画の総再生回数（+16万回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/seisakuishin/gyomu/5/2/3255.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

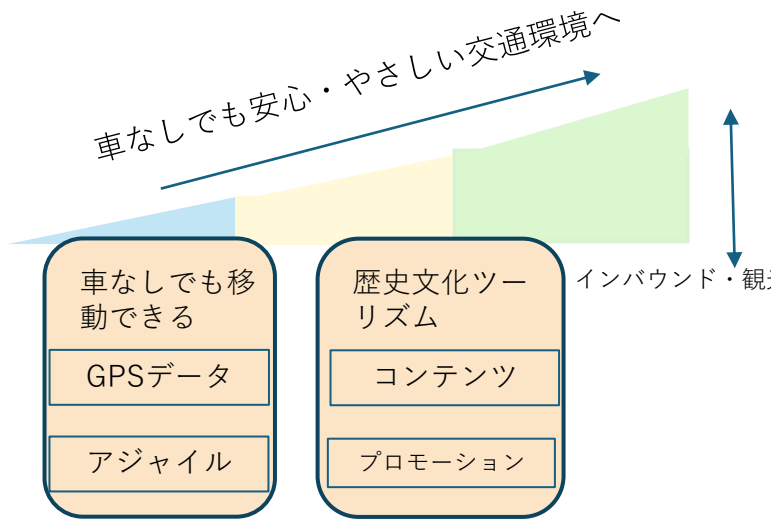
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

旧制度（推進）

申請者	群馬県前橋市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	100,500千円 (33,500千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・市内事業者の販路拡大・認知度向上を行うため、EC事業への参入の後押しをすることで地域産業の魅力発信に繋げる。 ・市内支援機関（商工会議所・商工会）とともに支援することで持続的な経営指導による事業継続を支援する。 ・地域ブランド認証の地域地場製品の広報活動や市内事業者の新製品や技術開発に取組む事業者の補助を行い地域資源の付加価値の向上を支援する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ECサイトへの出店により、既存の取引先以外へ販路拡大と地域地場産品（地域ブランド地域ブランド）などの広報の場として活用するほか、経験豊富な専門家や組織が中小企業をサポートし、事業成長、発展を促進し、地域ブランドの認知度向上が図られることで、地域産業の魅力を高める。	デジタル技術活用と地域事業者販路拡大による地域ブランディング事業 前橋市 産業政策課 現在、少額でのキャッシュレス決済や商品の買取型だけでなくサブスクリプションといったサービス契約、複数の他者と共有するシェアリングなど販売事業について、オンライン店舗へ購買行動が変化している。市内事業者の販路拡大・認知向上を図るため、EC事業への参入の後押しをすることで地域産業の魅力発信に繋げる。また市内小規模事業者の販路開拓に向けた経営計画などについて市内支援機関（商工会議所・商工会）とともに支援することで持続的な経営指導による事業継続を図るとともに、地域ブランド認証の地域地場製品の広報活動や市内の新製品や技術開発に取組む事業者の補助を行い地域資源の付加価値の向上を支援する。 支援① EC事業への参入支援 WEBアンテナショップを開設し、市内事業者からの地場産品の登録、販売を行う。EC事業、販売開始に不安のある事業者に対してショップ運営を支援し、ウェブ販売の取組が不足している地域事業者の支援を行い、ウェブ販売の体験を豊にする体制を整備する。 支援② 伴走支援 経営計画支援 地域支援機関である商工会議所・少く買いの支援により、財務状況を含めた自社分析と経営計画の策定・見直しを行い、3年間の経営計画の取組のめり、販路拡大を目的とした取組を補助などにより支援する。また随時フォローアップによる、継続的な支援を行う。 解説③ 伴走支援 前橋市地域ブランドの認証を受けた事業者が、赤城の県ブランド新商品に係る各種事業を実施した場合にその経費の補助を行うことで、赤城の県ブランド認証の販路促進を図る。 支援④ 新製品開発 支援 市内小規模事業者・中小企業による、新製品・新技術開発費の一部を補助することにより、企業内の開発費の削減と地域産業及び地域経済の活性化を促す。 伴走支援 継続フォローアップ 共同研究 産学連携 市内事業者 市 支援体制 産学連携 共同研究 産学連携 共同	

事業概要： 端末交通と歴史資源を活用した海外誘客促進事業

継続

申請者	群馬県前橋市、吉岡町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	65,339千円 (21,202千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・シェアサイクル事業の枠組みを用い新たにGPSを搭載したIoTユニットを導入することで、「車を使わない移動の実態」を明らかにし、インバウンド受入れ環境を創出する。 歴史・文化観光の意識が高まる中、前橋空襲と復興資料館を開設し、人の流れを呼び込むプロモーションに取り組む。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 GPS搭載IoTユニットで自転車の走行軌跡を観測・分析し、「車を使わない移動の実態」を明らかにし、基幹交通とのかみ合わせを改善し、マイカーに頼らない市街地交通環境を実現する。 節目の年に前橋の歴史遺産を集めた「前橋空襲と復興資料館」を開設・運営し、歴史的背景からも相乗効果の高い日本文化を題材とした事業を開催し、誘客、インバウンド宿泊数を向上させる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○端末交通運営事業 ・データ分析費2,382千円 ・運営委託費（ポート設置・管理、再配置、自転車修理） 4,198千円 ・収納事務委託費（アプリ運営・決済） 547千円 ○歴史文化コンテンツ運営事業 ・人件費（専任嘱託員） 10,575千円 ・イベント企画委託料（出演料、舞台設営、司会謝礼、広報費、会場費、イベント保険、消耗品） 3,000千円 ・運営事務費（電話、インターネット、リース料、事務用品） 500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+9億円） ②上毛電鉄並びにバス利用者数（+297千人） ③シェアサイクル登録者数（+17,100人） ④登録相談会開催数（+70回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/seisakusuishin/gyomu/5/2/3255.html

事業概要：誰もが居場所と役割を持つコミュニティ創出事業

継続

申請者	群馬県前橋市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	97,238千円 (32,471千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・未来の世代のためのインクルーシブな価値観づくり、現役世代の健康づくり、だれもが自分なりの担い手になれるコミュニティ活性化に取り組むことにより、誰もが個性と多様性を尊重され、希望に応じて能力を発揮することで、居場所と役割を持って繋がり、健康でアクティブに活躍できる地域を実現する。 ・「誰もが居場所と役割を持つコミュニティ」が形成されることにより、転入先として選ばれる地域となる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な労働力の確保のため、障害の有無にかかわらず希望に合わせた労働参加や労働力のボリュームゾーンが、健康を維持しながら長く活躍できるように取組む。また、だれもがデジタル空間で安全に繋がりがあえ、意見を表明することでまちづくりへの参画を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インクルーシブな価値観づくり事業 ・インクルーシブ理解醸成イベント事業（実行委員会負担金）1,500千円 ・実践型障害者社会参加連携プロジェクト（委託費）2,800千円 ・インクルーシブ推進カフェ等居場所運営事業（委託費）12,000千円 ・PR強化事業（（仮）ラッピングバスプロジェクト業務委託費）850千円 ○現役世代の健康づくり事業 ・健康情報の一元的提供・冊子作成（印刷製本費）370千円 ・地域別ウォークアブルスポットPR冊子（印刷製本費）750千円 ・健康運動指導士による健康教室での運動指導（委託料）2,201千円 ○だれもが自分なりの担い手になれるコミュニティ活性化（デジタル版人の流れ）事業 ・デジタルマーケティング調査の実施（運営補助費）6,000千円 ・めぶくコミュニティの推進（委託料）3,000千円 ・well-being市民アンケート調査（調査費、発送費、分析費）3,000千円						
主なKPI	①年間転入者数（+30人） ②インクルーシブ推進カフェ利用者満足度（+1.5%） ③国保運動習慣（20～64歳男性）（+0.45%） ④国保運動習慣（20～64歳女性）（+0.81%） ⑤めぶくコミュニティ投稿数（+60件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.maebashi.gunma.jp/soshiki/seisaku/seisakusuishin/gyomu/5/2/3255.html

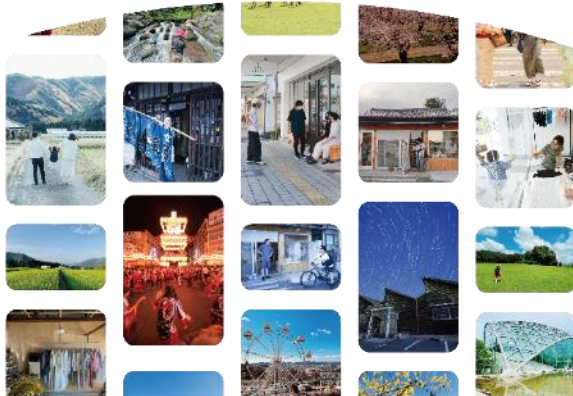
事業概要：「食、農、遊び、健康・癒し」をテーマとしたパーク型商業施設による交流拠点整備事業

新規

申請者	群馬県高崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	4,124,259千円 (748,009千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・高崎玉村スマートIC隣接の立地を活かした集客拠点の整備により、「通過型」から「滞在型」経済へ転換し、地場産業の付加価値向上と地域経済の拡大を実現する。 ・屋内外一体型遊戯施設の整備と雨水排水対策を一体的に推進し、子育て世代の定住促進と、災害に強く安全・安心な生活基盤を確立する。 ・地区間連絡橋整備で回遊性を高め、「強い経済」と「豊かな生活環境」が両立する持続可能な地方創生モデルを構築する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 民間主導の次世代型地域振興施設を核とした複合的な整備を行う。農産物等直売エリアや地産多消レストラン、地域資源を活用した温浴施設、遊戯施設を建設し、広域からの集客拠点とする。これと一体的に、拠点整備事業の効果を高めるため、分断された敷地を結ぶ地区間連絡橋や、安全と快適性を高める雨水排水管等のインフラ整備を実施する。さらに、農産物収穫祭によるプロモーションやバス路線の敷地内延伸を行い、ハード・ソフト両面から地域活性化を推進する。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 ・地区間連絡橋整備 664,309千円 ・雨水排水管整備 83,700千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①本市の観光消費額（+34億6200万円） ②農産物出荷額（+5億7900万円） ③地域における世帯数（+150世帯） ④施設の年間来場者数（+270万人） ⑤高崎玉村SICの年間利用台数（+6,600台/日）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要：官民連携の伴走型サポートによる移住・定住促進センター設置事業

旧制度（推進）

申請者	群馬県桐生市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	104,364千円 (14,860千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	官民連携の下で移住希望者への伴走型のワンストップ相談体制を構築し、移住・定住を促進する。 空き店舗を活用した起業・店舗開業を促進し、まちのにぎわいを創出する。 魅力発信・イベントなどを様々な団体と連携して実施することで、郷土愛の醸成を図るとともに、桐生市とのつながりを創出する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 起業や店舗開業希望者などをメインターゲットとする「移住・定住に関するワンストップ相談窓口」を設置し、民間の移住コーディネーターと共に、伴走型の相談支援を実施。きりゅう暮らしの魅力を伝えるウェブサイトや、交流人口・関係人口の拡大に向けたイベント等の開催により、本市の魅力を戦略的に発信しながら、つながり創りを行う。	 ゆるやかに、つながり ほどよく、むすばれる 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ワンストップ窓口運営事業（委託）10,420千円 移住コーディネーターによる伴走型の相談対応等を実施 ・ワンストップ情報発信事業（委託）3,370千円 ポータルサイトを通じた移住・定住支援策や魅力発信を行うとともに、移住関心層に効果的な広告企業と連携した情報発信を実施 ・イベント等開催事業（委託）1,070千円 デザイン経営手法を用いた具体取組の制度設計やリノベ専門家を帯同した空き店舗見学会などのリアルイベント、オンラインセミナー、親子体験モデルイベント等を実施		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①社会増減数（+470人） ②本事業によって店舗開業・起業・就農を伴う移住をした人数（+20人） ③移住・定住に関する相談件数（+202件） ④ポータルサイトへのアクセス数（+53,000回）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kiryu.lg.jp/shisei/keikaku/1018137/jinko/1024260.html （効果検証） https://www.city.kiryu.lg.jp/shisei/keikaku/1018137/jinko/1016065/1019714/index.html

事業概要：繊維のむすびすむ桐生推進事業

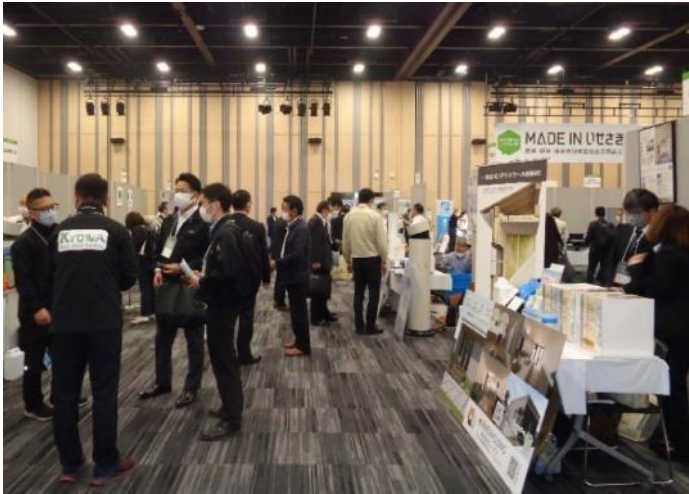
新規

申請者	群馬県桐生市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	45,608千円 (15,064千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・持続可能な繊維産地桐生を目指し、繊維産地桐生の川上から川下までのサプライチェーンを維持向上していくため、市内企業の課題を把握しながら、官民共創による情報発信や関わり創出、付加価値向上などの取組を展開していくことで人材確保につなげ、地域内経済を循環させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 人口減少・若年層の流出や基幹産業である繊維産業の担い手不足、事業承継に関する課題等を解決し、移住定住を推進する。女性・若者から選ばれるための就労環境の改善策を進めつつ、事業承継に関するの実態調査を行う。また、繊維産業に関する求人情報を含めた情報発信を行うためのポータルサイトを開設するほか、本市との関わりの創出や付加価値を向上するため、産地ツアーや東京藝術大学との連携による（仮称）桐生AIRアートフェスティバル等を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・繊維のむすびすむ桐生推進事業（委託料）7,744千円 ・事業承継支援事業（委託料等）1,120千円 ・若者・女性にも選ばれる桐生市の企業推進事業（報償費等）200千円 ・桐生アートフェスティバル開催事業（補助金）6,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+12人） ②本事業によって、繊維産業で起業・開業、就労した人数（+6人） ③本事業によって、事業承継した（された）件数（+5件） ④繊維のポータルサイトアクセス数（+40,000回） ⑤若者・女性にも選ばれる桐生市の取組に参画し、職場環境改善に取り組む企業数（+14企業） ⑥（仮称）桐生AIRアートフェスティバル来場者数（+3,000人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.kiryu.lg.jp/shisei/k-eikaku/1018137/jinko/1024260.htm （効果検証） https://www.city.kiryu.lg.jp/shisei/k-eikaku/1018137/jinko/1016065/1019714/index.html

申請者	群馬県伊勢崎市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	107,398千円 (24,910千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	まちなか（伊勢崎駅及び境町駅周辺地区）における創業や、小規模事業者の事業拡大、賑わいの創出を支援することによって、まちなかの経済活力や賑わいの向上を推進し、新たな雇用の創出や地域経済全体の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 空き店舗を活用した創業への包括的な支援や交流人口及び関係人口の増大を目的としたにぎわい創出事業の担い手育成など、まちなかにおける経済活力の向上となる事業推進のための素地をつくる。そして市が中心となって、その推進主体の構成メンバーと密に連携しながら、まちなか活性化に向けた事業として、「創業支援事業」、「小規模事業者サポート事業」、「にぎわいづくり支援事業」を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・まちなか創業者への創業促進サポート補助金 4,500千円 ・まちなか創業者向けのワークショップ等による支援 1,825千円 ・まちなかで事業を営む小規模事業者への事業拡大補助金 4,000千円 ・まちなかの賑わい創出のためのイベントの開催 13,485千円 ・本市の魅力等を紹介し、移住定住を促進させる政策間連携 1,100千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①まちなかで新たに創業した事業者の数（+19社） ②まちなかワークショップ参加者数（+300人） ③伊勢崎駅周辺で開催されるイベントの来場者数（+28,300人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.isesaki.lg.jp/gyoseijoho/seisaku_keikaku/chihososei/21650.html

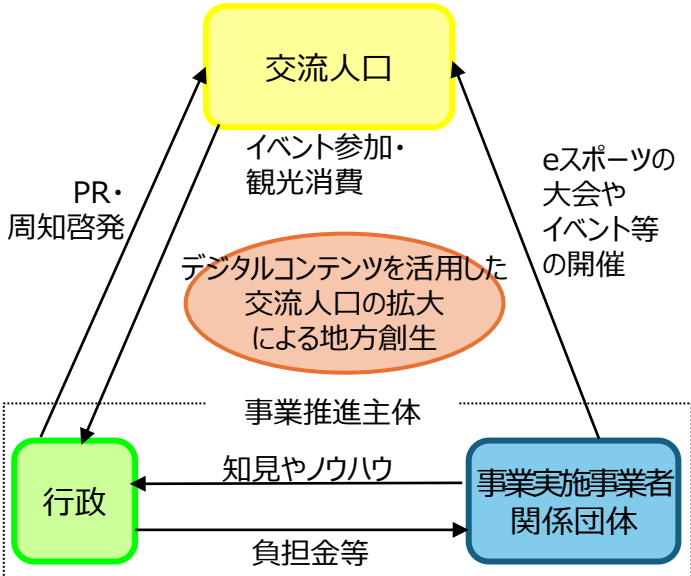
事業概要：Made in いせさき しごと創生プロジェクト

継続

申請者	群馬県伊勢崎市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	107,074千円 (27,320千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市内の製造業事業者による地域産業の活性化、付加価値の向上のため、販路拡大への支援や新技術及び新製品の開発支援を支援することで、製造業の収益を拡大させ、人口増加のための安定した雇用の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内企業の技術展や近隣市町村の事業者を招いた展示商談会を開催するほか、県内自治体、金融機関、商工団体が共同開催する展示会に、共同開催者として参加し、市内企業の販路拡大を支援する。 併せて、県外の展示会に市内企業との共同出展ブースを設営し、販路拡大と併せて先進事例等の情報収集を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・市内企業の技術展と地域活性化イベントの開催 10,990千円 ・市内企業の展示商談会の開催 800千円 ・県内自治体、金融機関、商工団体との展示会の共同開催と市内企業による展示会開催及び出展への補助 700千円 ・県外展示会への出展 13,400千円 ・市のPR広告物の作成・配布による移住促進と面接会の開催による就業支援の政策間連携 1,430千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①製造品出荷額等（+1,562億円） ②市内・県内展示会での新規契約数（+34件） ③県外展示会での新規契約数（+20件） ④移住相談会等の参加者数（+98人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.isesaki.lg.jp/gyoseijoho/seisaku_keikaku/chihososei/21650.html

事業概要：eスポーツ等デジタルコンテンツを活用した交流人口拡大事業

継続

申請者	群馬県伊勢崎市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	85,128千円 (43,731千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・eスポーツを軸としたデジタルコンテンツの活用による観光振興に取り組むことで、既存の観光資源をブラッシュアップし、新たな客層を獲得するための訴求力を高めるとともに、新たな観光資源となるコンテンツを生み出し、交流人口の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 華蔵寺公園をはじめとする観光の拠点や、鉄道利用者の観光の玄関口である伊勢崎駅、市内の大型商業施設、既存の観光イベントなど、市内外から多くの来訪者を呼び込める場面において、若年層への訴求力を高め、新たな客層を開拓するため、eスポーツやデジタルコンテンツを活用したイベントを開催する。また、本市にゆかりのあるマンガコンテンツを活用したイベントを開催し、eスポーツイベント開催時等に本市に来訪した方の市内への回遊を促すとともに、イベントが開催されていない時期の来訪のきっかけづくりを行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・デジタルコンテンツ等を活用したシティプロモーション経費：5,904千円 ・デジタルコンテンツを活用したイベント委託料：20,361千円 ・eスポーツイベント開催委託料：4,400千円 ・eスポーツ周知啓発動画制作委託料：550千円 ・eスポーツ大規模大会開催負担金：5,000千円 ・まちづくりコンテスト開催委託料：1,100千円						
主なKPI	①地域の観光消費額（+1.1億円） ②eスポーツ大規模大会の年間来場・視聴者数（+1300人） ③eスポーツイベントの年間開催回数（+11回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.isesaki.lg.jp/gyoseijoho/seisaku_keikaku/chihososei/21650.html

事業概要：産業の活性化を軸とした、活力ある伊勢崎市実現プロジェクト

新規

申請者	群馬県伊勢崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	289,229千円 (37,565千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市内中小企業・事業者の経営力の強化や雇用対策の強化、認定農業者等への支援やシティプロモーション推進事業などを中心に実施することで、本市の基幹産業である製造業や農業の持続的な発展と、若年者層を中心とした世代の定着やUターンを促進することで、活力あるまちづくりにつなげていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 雇用対策やリスキング支援、事業者への支援等により、市内事業者の経営力を強化するとともに、世界遺産を有するといった本市の魅力や特長を活かしたイベントの開催や情報発信といったシティプロモーションを強化し、交流人口や関係人口の拡大を図ることで、地域の稼ぐ力の向上、転出の抑制やUIJターンの増加へと繋げ、移住者・定住者の増加を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・動画による市内企業のPR：3,520千円 ・市内企業に対するDXをテーマとしたリスキング支援：3,300千円 ・認定新規就農者や認定農業者の経営発展に対する補助：15,000千円 ・本市が持つ特有のコンテンツを活用したシティプロモーション：6,615千円 ・市の歴史や文化に触れる機会の創出：8,506千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+390人） ②「産業の競争力強化」へ満足している人の割合（+15.0%） ③伊勢崎市に愛着がある人の割合（+6.0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.isesaki.lg.jp/gyoseijoho/seisaku_keikaku/chihososei/21650.html

事業概要：デジタルクリエイティブ人材育成事業

新規

申請者	群馬県伊勢崎市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	182,307千円 (21,173千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・若年人材にとって魅力的な職業選択の機会を提供することで、若年人材の定住・Uターンを促進するため。 ・デジタル技術やクリエイティブな考えを駆使した新しいアプローチにより、既存の産業に新たな付加価値を与えることで、競争力の向上を図る。 ・デジタルクリエイティブ産業の集積とデジタルクリエイティブ人材の育成により、人口動態的な課題と産業構造に関係する課題を包括的に解決していくことで、持続的な経済発展を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 産業のデジタル化及びデジタル人材の育成・デジタルリテラシーの向上を目的とした取組を展開するための、デジタルクリエイティブ人材育成拠点を整備し、国際的に評価の高いアルメニアのTUMOの優れた教育プログラムを導入する。また、デジタルクリエイティブ人材育成プログラムに参加する希望者を増やすため、デジタルに触れて興味関心をはぐむことができる機会となる各種イベントを実施する。 拠点整備事業では、住宅を改修し、デジタルクリエイティブ人材育成施設（TUMO Box）の整備を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 施設の開設に向け、実施設計及び改修工事を行う。 ・建築物本体工事 11,260千円 ・建築物と不可分な設備工事 320千円 ・電気設備工事 110千円 ・給排水衛生工事 80千円 ・空調工事 130千円 ・施設借上 1,200千円 ・設計等業務委託 8,393千円						
主なKPI	①伊勢崎市（製造業）の粗付加価値額（+250億円） ②「伊勢崎市はデジタル化が進んでいる」と感じる市民の割合（+23.3%） ③デジタル人材の育成・確保について満足している人の割合（+15.0%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.isesaki.lg.jp/gyoseijoho/seisaku_keikaku/chihososei/21650.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

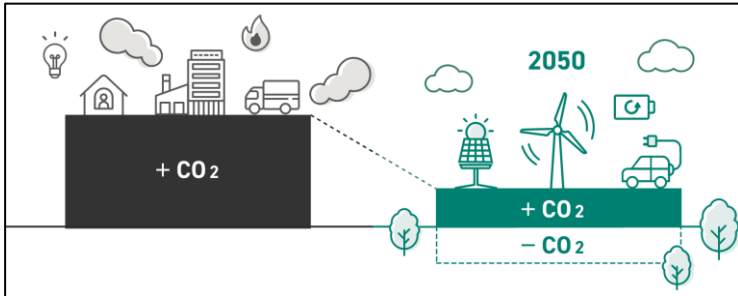
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	群馬県太田市					初回採択回	令和 8 年 1 月募集					
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	21,858千円 (7,286千円)					
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業							
目的・効果	・市内中小企業・小規模事業者を中心に、人材不足や人材活用に関する課題解決を図るため、若者・女性・障がいのある人など多様な人材と企業を結び付けるマッチング機会を創出し、地域産業の持続的な発展を目指す。 ・企業の人材受入体制や採用・定着に関するノウハウ向上を目的に、関係機関や大学等と連携した啓発・実証的取組を通じて、地域全体で人材活用力の底上げを図る。 ・多様な人材が安心して働き続けられる環境を整備することで、市内雇用の創出と定着を促進し、「働く場として選ばれる太田市」の実現を通じて、地域経済の好循環と地方創生に寄与する。											
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 性別や年齢、障がいの有無を問わず多様な人材が活躍できる環境づくりを目的に、企業向けの障がい者雇用支援や就業意向調査を行うとともに、若者・女性と市内企業のマッチング機会を創出し、地域産業を支える人材確保と定着を図る。											
	【R8年度事業 経費内訳】 多様な人々が働ける環境整備 <table><tr><td>障がい者向け</td><td>4,536千円（委託料）</td></tr><tr><td>・企業向け啓発セミナー、障がい者雇用オンライン説明会の開催等</td><td></td></tr><tr><td>若者（高校生と大学生を含む30歳未満）と女性向け</td><td>2,750千円（需用費、負担金）</td></tr><tr><td>・太田市合同企業説明会、おおた子育て支援就職面接会の開催等</td><td></td></tr></table>							障がい者向け	4,536千円（委託料）	・企業向け啓発セミナー、障がい者雇用オンライン説明会の開催等		若者（高校生と大学生を含む30歳未満）と女性向け
障がい者向け	4,536千円（委託料）											
・企業向け啓発セミナー、障がい者雇用オンライン説明会の開催等												
若者（高校生と大学生を含む30歳未満）と女性向け	2,750千円（需用費、負担金）											
・太田市合同企業説明会、おおた子育て支援就職面接会の開催等												
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲1,500人） ②働き盛り（20～39歳）人口数の減少抑制（▲34人） ③市民満足度調査-工業の振興 満足度の平均値（+0.22ポイント） ④イベント参加者数 事業者・障がい者・若者・女性の合計（+150人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和 9 年 3 月公表予定					

事業概要：プラネタリウムを活用した地域活性化『里沼から宇宙へ』

継続

申請者	群馬県館林市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	60,281千円 (26,837千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・たてばやし向井千秋記念子ども科学館が有する全国有数規模のプラネタリウムのポテンシャルを最大限に活用し、周辺施設と連携した観光振興による地域創生に取り組む。「館林市と言えば宇宙・科学」のブランディングによって地域への愛着と誇りを一層持てるまちを実現し、市内はもとより市外からも多くの人を呼び込み更なる交流を生み出す。 ・地域にかかわる多様な主体が連携してまちづくりに参画することで、人口減少社会においても活力と賑わいのあるまちを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 たてばやし向井千秋記念子ども科学館に最新のデジタルプラネタリウム機器を導入し、本市の日本遺産「里沼」や子ども向けの投影番組などのオリジナルコンテンツを制作・提供するほか、各世代のニーズに合わせた番組の投影、プラネタリウムを活用した新たなイベントを開催し、交流人口・関係人口の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタルプラネタリウム機器導入事業 17,597千円 ・プラネタリウム機器賃借料（令和8年4月～令和9年3月分） 内訳：システム・プロジェクター・音響等一式（保守料を除く） ○デジタルプラネタリウム活用事業 9,240千円 内訳：日本遺産「里沼」に関するオリジナルコンテンツや子ども向け番組の制作 サブスクリプションサービス等を活用した番組の投影 ○広報・PR事業						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①年間観光消費額（+10,713千円） ②たてばやし向井千秋記念子ども科学館プラネタリウム観覧者数（+2,615人） ③周辺施設等（向井千秋記念子ども科学館、館林市第二資料館、田山花袋記念文学館、つつじ映像学習館）の入館者数（+4,772人） ④学習投影番組及びプラネタリウム制作講座の満足度調査（+93%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/kagakukan/ （効果検証） https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/

申請者	群馬県富岡市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	23,089千円 (7,895千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的・効果	・中小企業が脱炭素の取組を積極的に進めることで、企業イメージの向上、競争力の強化、取引先の拡大などに つなげ、人、もの、情報が集積するまちとなり、市全体の活性化を図る。 ・売上高等の向上により、新たな雇用を生み、地域経済および若者の流入によるまちの活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 脱炭素セミナー等の開催により市民や地域企業が脱炭素に向けて何 ができるか知り、考えるための事業を行う。また、CO2排出量計測シス テム導入支援、省エネ設備導入補助金やアドバイザー派遣により、事 業者が自社の二酸化炭素排出量を測り、把握し、改善するための取 組を促進する。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・CO2排出量可視化システム導入支援事業（委託料）996千円 ・GXアドバイザー派遣事業（委託料）4,400千円 ・脱炭素セミナー等開催負担金（委託料）99千円 ・省エネ設備導入促進支援補助金（補助金）2,400千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における新規雇用者数（+15人） ②本事業参加企業における売上高の伸び率（+1.6%） ③開催した環境経営セミナー・環境啓発セミナーへの参加者数 （+90人） ④本事業参加企業におけるエネルギー使用量（▲16%）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.tomioka.lg.jp/w ww/contents/1681782065775/in dex.html (効果検証) https://www.city.tomioka.lg.jp/w ww/contents/1480920210288/in dex.html

申請者	群馬県みどり市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,495,968千円 (1,119,620千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	建設から40年以上が経ち老朽化による維持経費負担増に加えて、新型コロナを契機に変化した観光ニーズに対応できない施設構造などの問題から利用者が減少している「国民宿舎サンレイク草木」をリニューアルすることで、観光誘客を推進し、交流人口や関係人口を創出するとともに周辺アクティビティや施設、小売店への経済的な波及効果を図り、エリアとしての魅力向上と地域の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 官民連携型の観光拠点を整備（新築）することにより、新たな滞在型の観光マーケットを創出することに加えて、拠点をベースとした体験型コンテンツの充実を図ることなどにより、観光消費の促進を図るとともに、本市東町地域の新しいブランディングの目玉として発信することで観光客の集客を目指す。					 宿泊棟・温浴棟・セントラル棟 飲食棟	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・建築整備の内容 建築工事291,162千円、電気設備工事83,420千円、機械設備工事267,028千円、共通仮設・一般管理費等130,310千円 ・施設整備・用地造成等の内容 本体外構203,796千円、飲食棟外構 71,280千円、駐車場整備5,390千円、遊歩道整備29,614千円、共通仮設・一般管理費等37,620千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内観光消費額（+2億6,800万円） ②施設利用者数（+2万5,000人） ③施設運営収支（+1,784万5,000円） ④施設を利用した、市民協働によるイベント及び周辺事業者との連携イベント（プラン造成含む）の開催（+40回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.midori.gunma.jp/s-hisei/1001659/1001840/1003004.html

申請者	群馬県みどり市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	769,394千円 (36,720千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	日本の旧石器時代を証明した岩宿遺跡に関する資料を展示する岩宿博物館をリニューアルし、デジタル技術を活用した体験型展示を取り入れて岩宿時代を身近に楽しく学べる展示施設に改修し、岩宿博物館を周遊観光の拠点に位置付ける。 一般の人が岩宿遺跡にもっと身近に興味を持ってもらえるよう、岩宿遺跡の発見者である相澤忠洋氏を題材とした劇場公開用の映画を制作してファンの裾野を広げ、映画ファンの聖地巡礼を促すロケツーリズム推進により観光消費の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 歴史の教科書を通じて岩宿遺跡の名称はある程度認知されているものの、PRするコンテンツの不足や観光消費できる場が少ないことが課題となり、観光消費に繋がっていない。また、着地点となる岩宿博物館の受入体制も更新されておらず相対的な誘客力が低下しているため、岩宿博物館をリニューアルして周遊観光の拠点とする。このリニューアルに合わせて同遺跡をPRするための映画を制作し、土産品等を開発してロケ地巡りを促す仕掛けを行うことで、観光周遊と消費拡大を目指す。					 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 ・映画配給・宣伝費（広告料）：30,000千円 ・ロケ地マップ制作（印刷製本費）：2,970千円 ・ロケツーリズム推進協議会年会費（負担金）：550千円 ・地元企業に対する土産品開発支援（補助金）：1,200千円 ・ロケ地案内看板設置（工事費）：2,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①市内観光消費額（+2億7,720万円） ②施設の総収入額（+590万円） ③映画の観客動員数（+3万5,000人） ④主催体験学習イベント参加者数（+1,000人） ⑤新商品・メニュー販売額（+1,160万円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.midori.gunma.jp/s-hisei/20th-anniversary/1006044/index.html （効果検証） https://www.city.midori.gunma.jp/s-hisei/1001659/1001840/1003004.html

事業概要：事業者向け「DX×GX」支援によるデジタル化と脱炭素化実現プロジェクト

新規

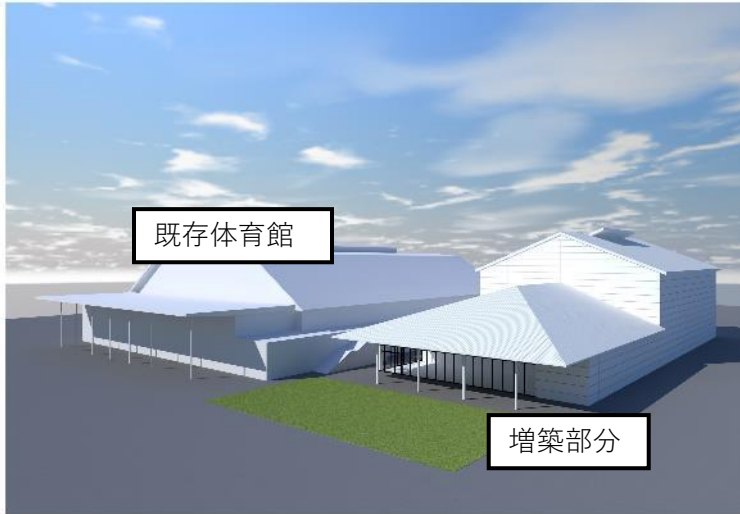
申請者	群馬県みどり市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	48,864千円 (10,938千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタル化と環境課題への対応による地域経済の活性化を両輪とし、市民や事業者、行政が一体となってデジタル化と脱炭素化を推進することで、将来に渡って豊かで活力ある持続可能な地域社会の実現を目指す。 ・市内事業者をDXとGXの分野で支援することで、経営基盤及び競争力の強化、新たな価値創出などをを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 DX事業では、市内中小企業のデジタル化の現状や経営課題を詳細に調査し、データに基づいて課題を可視化したうえで、啓発のためのセミナーを開催するほか、専門家が企業に寄り添いデジタル化のためのサポートを行う伴走支援を実施する。 GX事業では、脱炭素の意義や必要性を啓発するためのセミナーを開催するほか、企業のCO2排出量の可視化支援及び脱炭素アドバイザーの派遣により、どのように排出削減していくのかのロードマップを作成する。また、国際的な認証取得に係る補助事業や省エネ・再エネ設備導入費の補助事業により、温室効果ガス排出削減に繋げる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・DX経営実態調査・デジタル化推進啓発支援事業（委託料）3,630千円 ・脱炭素セミナー及びアドバイザー派遣事業（委託料）4,808千円 ・CO2排出量可視化システム導入支援（委託料）1,000千円 ・中小企業版SBT認定取得支援（補助金）1,500千円						
主なKPI	①市内企業の付加価値増加額（+73.89百億円） ②業務が効率化し生産性が向上したと回答した数（+110社） ③DXセミナーへの参加者数（+60事業者） ④GX事業参加企業におけるエネルギー使用量の削減率（▲12.6%） ⑤SBTの認証を取得した中小企業数（+15社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.midori.gunma.jp/shisei/1001659/1001840/1003004.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：スポーツ・健康・交流拠点整備による地域活性化事業

新規

申請者	群馬県みどり市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,717,180千円 (684,002千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 市民体育館増築により機能を高め、大会やイベントを開催しやすい環境を整備する - 市外から多くの人を呼び込み、交流人口の拡大を図る - 来訪者の宿泊・飲食・観光利用を促し、地域での消費を生み出す - 人の流れとにぎわいを創出し、地域経済の活性化につなげ、地域における人材の定着や地場産業の持続的な維持に寄与することを目的とする。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 - 体育館の機能向上・増築により、大会やイベントの受入れを拡大する - 年間を通じた大会・交流イベントを実施し、市外からの来訪機会を増やす - 来訪者の滞在時間を延ばし、宿泊や飲食、観光など地域内での利用を促進する - 継続的な来訪と消費の流れを生み出し、地域経済の好循環を形成する 単なるスポーツ施設の機能拡充にとどまらず、岩宿駅周辺を「住民が健康でいきいきと暮らし、働く人が仕事と生活を両立できる地域」として再構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・市民体育館増築 整備費 684,002千円 約1,900㎡規模のサブアリーナ（バスケットボール1面程度）を確保する競技空間とするもの。 建築工事、電気設備工事、機械設備工事等						
主なKPI	①人口世帯数（+1,017人・+277世帯） ②市民の週1回以上の運動実施率（+6.4%） ③昼間の健康教室参加人数（+600人） ④大会開催件数（+30件）					URL	https://www.city.midori.gunma.jp/s
						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	hisei/1001659/1001840/1003004.html

事業概要：公園施設整備事業

(天神東公園及び道の駅よしおか温泉のリニューアルに係る建築工事)

新規

申請者	群馬県吉岡町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	536,423千円 (38,283千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・「道の駅よしおか温泉」及び隣接する「天神東公園」について、都市公園「よしおか温泉公園」として一体的に再整備する。 ・整備により公園利活用を促進し、すべての世代の町民と、町外・県外からの訪問者も含む交流の場を創出する。 ・公園及び道の駅の滞在時間を延ばすとともに、更なる消費活動の促進を図ることで、施設や地域全体で稼ぐ仕組みの確立を目指し、今後予想される人口動態の変化を緩和させ、乗り越えていけるような「稼ぐことができる」地域づくりを行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 住民にとって暮らしやすいまちづくりを進めるとともに町外からの実際の訪問のきっかけを与える拠点として、「道の駅よしおか温泉」及び隣接する「天神東公園」について、都市公園「よしおか温泉公園」として一体的に再整備する。天神東公園部分については園地整備（社会資本整備総合交付金活用）と同時に、公園内に交流拠点・収益施設を新築する。「道の駅よしおか温泉」部分は、現存する各施設をつなぐ正面エントランスの増築、既存の物産館施設の模様替事業を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・公園交流拠点・収益施設 新築実施設計費 18,785千円 ・正面エントランス増築実施設計費 10,113千円 ・道物産館（かざぐるま）模様替実施設計費 9,385千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口（+950人） ②観光消費額（+27,400千円） ③道の駅年間利用客数（+79,000人） ④交流イベント等の実施数（+15回） ⑤物販施設の事業収益（+22,575千円）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.yoshioka.lg.jp/chousei/keikaku/zentai/post_113.html

事業概要：移住から定住へ 社会減の抑制のための定住促進事業

旧制度（推進）

申請者	群馬県上野村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	38,750千円 (11,550千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・移住者を含めた若い世代の定着を目指し社会減の抑制のため、定住の促進を図る。 ・転出者を抑制し人口減少に歯止めをかけることで、地域や業の担い手の確保を図る。 ・移住前や移住直後に村の文化や風習等を体験する機会を創出し、移住への不安を和らげることで移住の促進を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業では関係人口を拡大し移住を促しているが、移住者を含めた若い世代の定着に課題があるため、村に興味を持つ際に思いと齟齬がないようなマッチング支援を行うとともに、移住した若い世代がこの地域に長く定着できるよう、村の魅力を知ることのできる場の提供の強化を行い、転出者を抑制し人口減少に歯止めることで、地域や業の担い手の確保を図り地域の活性化を図る。	 情報発信 移住検討者 移住定住へ 魅力の発信	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・村内外の若世代へのイメージ等調査委託料：2,200千円 ・移住定住のためのコンテンツ作成業務(委託費)：4,400千円 ・移住定住体験ツアーメニュー開発・運営業務(委託費)：4,400千円 ・歴史・文化等の伝承のための講演会等開催業務（消耗品・謝礼等）：550千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①本村へのUIターン数（+60人） ②社会減の減少数（+12人） ③交流サイト利用者数（+80人） ④移住定住体験ツアー参加者数（+50人）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.uenomura.jp/admin/politics/kouhyou.html

事業概要：極いのぶた推進事業

継続

申請者	群馬県上野村					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	638,991千円 (183,081千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	村の特産品であるいのぶたのブランド化を推進し、施設改修を進めることにより生産頭数の増加を図る。豚熱対策を徹底し、同時に肥育環境を整えることで生産体制の安定化と職場の働きやすさの向上を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 いのぶたを特産品として地域で付加価値をつけて販売することで地域に人を呼び込み、事業の高収益化、安定化も図るためには、いのぶたの生産量を増やすことが課題である。その課題解決のために、施設、出荷体制、出口戦略を一貫して刷新することが必要となっていることから、生産と改修を並行して実施する。既存施設を解体し、繁殖舎を整備する。改修工事をスムーズに進めるため、令和9年度実施予定の事業について設計を先行して実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 〇いのぶたファームの施設改修（全体） 183,081千円 ・繁殖舎 160,948千円 ・解体 12,023千円 ・設計 10,110千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域内の畜産物出荷額の増加（+9,400万円） ②いのぶた事故率の減少（▲2%） ③いのぶた及び豚の出荷頭数の増加（+650頭） ④いのぶたの取引件数の増加（+50件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.uenomura.jp/admin/politics/kouhyou.html

事業概要：清流 神流川でのフィッシングを活用した川の駅上野（上野村ふれあい館）リニューアル事業

新規

申請者	群馬県上野村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	213,885千円 (128,277千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・上野村の資源である清流『神流川』でのフィッシングの魅力を高め、釣り客が集い、交流する場としての川の駅上野を再整備し、観光客増加と消費拡大を目指す。 ・体験型プログラムや釣り道具レンタル、安全管理の充実により、釣り未経験者や子ども・女性など多様な利用者が安全かつ安心して楽しめる環境を整備し、新たな釣り客層の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 上野村でのモニタリング調査の結果、清流「神流川」におけるフィッシング体験には、釣り未経験者や子ども、女性など多様な層が関心を持つことが判明した。本事業では、川の駅上野（上野村ふれあい館）を拠点として、安全管理の充実や釣り具レンタルの導入、体験型プログラムの充実させ、誰もが安心して釣りを楽しめる環境を整備する。カフェ・ショップスペースを刷新し、地域食材を活かしたオリジナルメニューの提供を通じて、来館者が快適に滞在できる環境を整え、消費促進につながる拠点としての魅力を高め、地域経済の活性化を図る。						
	【主な経費】 ・建築物本体工事 川の駅上野内装改修・デッキ新設 124,317千円 ・オリジナルメニュー開発 3,960千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①上野村観光消費額増加 (+23,990千円) ②ふれあい館観光入込客数（来館者数）増加(+8,550人) ③ふれあい館売上額増加(+17,838千円) ④フィッシングスクール参加者数(+134人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.uenomura.jp/admin/politics/kouhyou.html

事業概要：移住定住促進・雇用推進に向けた宿泊施設整備事業

新規

申請者	群馬県南牧村						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	70,027千円 (70,027千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・宿泊施設が極めて少ない南牧村において、本施設を整備することで、これまで日帰りにとどまっていた観光客や体験滞在者に対し宿泊の機会を提供し、村内での滞在時間の延長を図る。 ・本施設を、移住検討者や二地域居住希望者が南牧村での暮らしを具体的に体験する「足掛かりの場」として位置付ける。 ・学校行事や地域イベント、ワークショップ等の受け入れ拠点として活用し、村外からの参加者と地域住民との交流機会を創出する。歴史ある宿場町の景観や、祭り・地域活動が身近にある立地特性を生かすことで、交流の質を高め、継続的な関係構築につなげる。 これまで生じにくかった「滞在を前提とした消費」を創出する点において、地場産業にとって新たな需要の入口となることが期待される。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 村内の空き家を改修した一棟貸し型の宿泊施設を整備することにより、南牧村における「滞在できる環境」を創出し、これまで課題となっていた宿泊・滞在機能の不足を解消するものである。あわせて、観光、体験、交流、移住検討といった各施策を滞在拠点を軸に一体的に展開することで、関係人口の創出・拡大を図り、地域の持続可能性向上につなげる。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○村有古民家をリノベーションし宿泊・滞在拠点を整備する。 ・建築物本体工事 58,807千円 ・電気設備工事 1,980千円 ・機械設備工事 9,240千円							
主なKPI	①地域の人口・世帯数（▲105人）※人口減少の緩和を目指す。 ②宿泊利用組数（+90組） ③交流イベントの開催数（+9回） ④テレワーク・ワーケーションの利用組数（+35組） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						URL	具体的使途・実施体制 →令和8年7月公表予定 効果検証 →令和9年3月公表予定

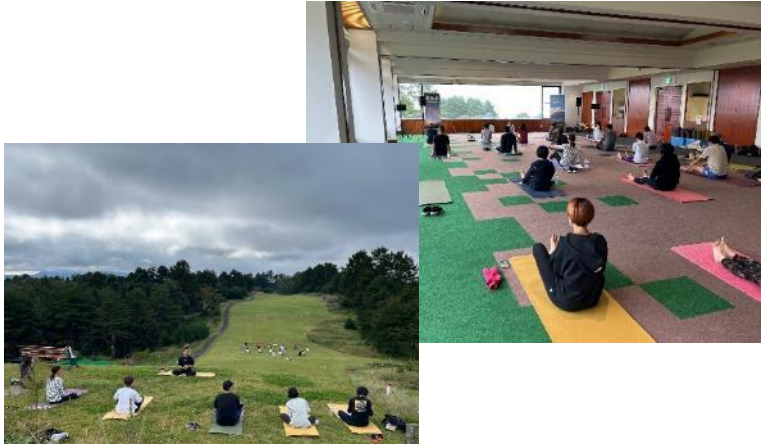
事業概要：有機農業を核とした地域活性化事業

新規

申請者	群馬県甘楽町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	815,551千円 (138,879千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・甘楽ふるさと農園と（仮）オリーブの丘農業公園を核に、有機農産物のブランド化を展開し、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・有機農業の拡大による環境負荷低減、地域ブランドの創出、学校給食への導入を通じた食育や地産地消の推進を行う。 ・誰もが安心して口にできる有機農産物を提供することで、地域における「食の安全と健康増進」に貢献。 ・地域の豊かな自然と歴史に育まれた有機農業を、単なる食料生産の手段に留めず、地域経済を牽引する中核的な地場産業へと発展させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 有機農産物の収穫体験事業、学校給食への有機農産物導入促進事業、有機農業者の栽培技術向上事業及び有機農産物の消費拡大事業を実施して、有機農業の産地づくりを行う。 甘楽ふるさと農園に新たに5棟の休憩棟（木造平屋建て、延べ床面積26m2、キッチン・ユニットバス付）を増築する。 また、（仮）オリーブの丘農業公園においては、公園と建物の基本設計と荒廃農地の伐採・伐根工事を行い、公園整備に着手する。 有機農業を「体験・交流・人材育成」を通じて価値化する実践フィールドとして位置づけるとともに、産業振興、観光、移住・定住施策を横断した取組として展開していくことを目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・有機農業産地づくり事業（委託料）1,500千円 ○拠点整備事業 ・甘楽ふるさと農園・休憩棟建築（5棟）工事 88,358千円 ・（仮）オリーブの丘農業公園基本設計 15,520千円 ・（仮）オリーブの丘農業公園・建物基本設計 7,200千円 ・（仮）オリーブの丘農業公園用地伐採・伐根工事 26,301千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①有機農産物の算出額（+132,604千円） ②有機農業従事者数（+9人） ③有機農産物作付面積（+2.7ha） ④学校給食への有機農産物の導入（+3.0t） ⑤甘楽ふるさと農園利用者数（+9,520人） ⑥（仮）オリーブの丘農業公園来場者数（+108,690人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和9年3月公表予定

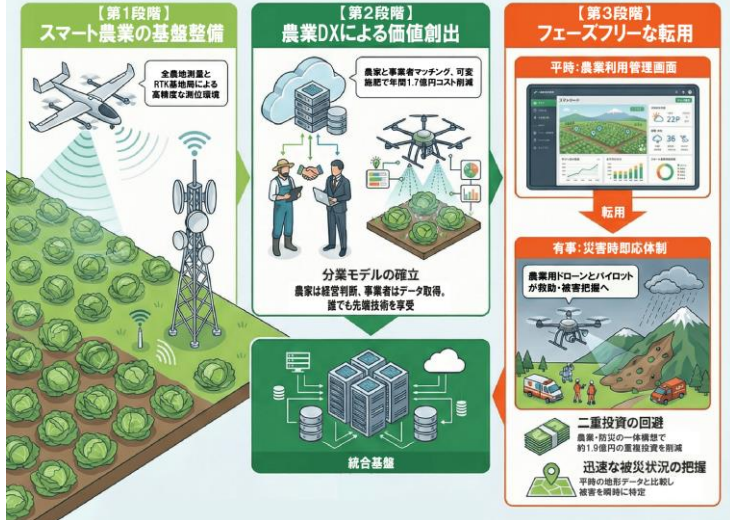
事業概要： 婦恋ウェルネスリトリート事業

旧制度（推進）

申請者	群馬県婦恋村	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	33,500千円 (8,400千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	交流を増進させ地域の活性化、移住の促進を行う。交流イベントの実施や、ウェルネスリトリートを推進する人材を育成し事業の継続を図る。 ウェルネスツーリズムを本村における新たな観光資源として位置づけ、関係機関と協力し誘客を行い地域の活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新たな人材育成を行い安定的に事業を継続するとともに、村内各地で各年代に響くような魅力的な運動プログラムの提供を行う事により、広く参加者を募る。運動習慣を定着させ健康増進に向けた取組を継続できるよう基盤を整える。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○村民と長期滞在者の交流の場となるよう運動を通じた交流イベントを実施し地域の活性化へ繋げる。 ・イベント実施費用 5,650千円 ○観光客等にマーケティング調査を行いウェルネスツーリズムのプランを作成する。 ・ウェルネスツーリズムプラン造成費用 550千円 ○「運動」というキーワードを活かし村民、長期滞在者、観光客についてイベントを通して交流を図り、移住、再訪に繋げる。 ・イベント実施費用 2,000千円 ○民間企業に委託しウェルネスリトリートを支える人材の育成を図る。 ・人材育成費用 200千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数 (+10人) ②年間参加者数 (+150人) ③村外参加者数 (+35人) ④観光客入込数 (+2,100人)	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp (効果検証) https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/www/contents/1676254604955/index.html

事業概要：フェーズフリー型スマート農業・防災DX統合基盤構築事業

新規

申請者	群馬県嬭恋村					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	249,820千円 (34,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	嬭恋村の基幹産業であるキャベツ農業を次世代に継承するため、ドローンや衛星データを活用したスマート農業を導入し、担い手が減少する中でも生産性を維持・向上できる体制を構築することで、生産性の向上に伴う地場産業の競争力強化と農家所得の向上を目指す。 あわせて、「フェーズフリー設計」の運営モデルを確立し、平時の農業DXと災害時の防災対応を両立する持続可能な地域基盤を整備し、地域の防災対応力と安全・安心の向上にも寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本村の地場産業である農業の競争力強化を目的として、段階的にドローン・衛星データ等を活用した「スマート農業」を導入する。これにより、作業の効率化・省力化を実現するとともに、スマート農業で得られるデータをデジタル基盤として蓄積・活用し、肥料コスト削減や収量最適化といった新たな価値を創出する「農業DX」を推進する。 また、農業DXで構築したプラットフォーム・機体・人材を災害時にも活用する「フェーズフリー設計」の防災DX体制を構築する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・スマート農業導入事業（委託料）34,000千円 通信インフラ調査、VTOL測量準備、マッチングPF・ドローン業務管理システム仕様策定、ドローン業務管理システムプロトタイプ開発、可変施肥技術検証、既存技術先行実装等を実施する。						
主なKPI	①農業産出額（+14億円） ②キャベツ10a当たり収量（+300kg/10a） ③肥料生産性指数（+17%） ④スマート農業サービス可能面積（+3,500ha） ⑤プラットフォーム登録事業者数（+129事業者） ⑥本事業の取り組みを認知している住民の割合（+100%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp p （効果検証） https://www.vill.tsumagoi.gunma.jp/www/contents/1676254604955/index.html

事業概要：草津温泉における新しい人の流れを創出する観光・文化交流拠点の整備

新規

申請者	群馬県草津町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,012,929千円 (467,885千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・新たな拠点整備や道路の美装化、「温泉」の文化的な価値や世界的にも貴重な資源であることを活用して、観光客の新たな動きを創出するほか、来訪者の増加・周遊性の向上・来訪地域の平準化、地域経済活性化に取り組み、「百年先を見据えた付加価値の高いまちづくり」を目指す。 ・産業の持続性を確保しつつ、高付加価値化された温泉を呼び水に国内外から草津温泉ファンを獲得し、関係人口の増加と地域の活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現在多くの割合を占めている湯畑南側から湯畑等の中心部へ集中して向かう現状を踏まえ、観光客の動きを分散する新たなメイン動線を形成するため、湯畑東側の「滝下通り地区」における拠点として、「煮川の湯」を草津の伝統的な温泉文化である「草津節」に触れる観光文化拠点として整備（改築）するほか、湯畑から徒歩10分圏内にある湯川駐車場を東の玄関口、及び西の河原公園駐車場を北の玄関口として再整備する。また、各拠点をつなぐ道路をウォーカブルな空間として観光施策に活用するため、再整備を行う。 円滑な観光動線の確保、新たな回遊ルートと拠点形成による人流の分散・創出、滞在時間の延伸、観光消費額の拡大につなげる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・煮川の湯建替え工事 96,833千円 ・湯川駐車場再整備（第1期） 63,008千円 ・西の河原公園駐車場再整備 120,395千円 ○インフラ整備事業 ・道路美装化事業 187,649千円 道路舗装と照明整備を行う。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+2,808,756千円） ②滞在時間（+3時間） ③煮川の湯の利用者数（+20,700人） ④草津市内における最大渋滞数（▲700m） ⑤ARコンテンツ周遊事業の参加者数（+6万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年6月公表予定 （効果検証） 令和8年10月公表予定

申請者	群馬県みなかみ町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	944,300千円 (454,300千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	- 利用頻度の低下した公共施設を「おもちゃ美術館」と「木工房」に改修し、幅広い世代が木に触れ親しむ木育や地域の木材の利用を促進する。また、観光施設としての魅力も高め観光消費額の増加も目指す。 - 子育て世代が気軽に交流できる場とすることで安心して子育てできる環境を構築するとともに、高齢者がスタッフとして活躍することで生きがいの創出や世代を超えた交流を促進する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR8年度事業費	【事業概要】 利用頻度の低下した公共施設を、幅広い世代が木に触れ親しむ木育や地域の木材の利用を促進する「おもちゃ美術館」と「木工房」に改修する。					 「おもちゃ美術館」改修イメージパース  「おもちゃ美術館」改修予定施設  「木工房」改修予定施設	
	【R8年度事業 経費内訳】 ■ 建築物整備 396,000千円 ・建築物本体工事 143,000千円 ・建築物と不可分な設備整備 187,000千円 ・設計監理費、共通仮設・現場管理・一般管理費 66,000千円 ■ 備品整備 49,500千円 ・おもちゃ美術館什器、玩具等製作費 22,000千円 ・木工房木工機械・什器整備費 27,500千円 ■ 効果促進事業（ソフト事業） 8,800千円 ・おもちゃ美術館ボランティア、運営スタッフ育成費 4,100千円 ・ブランディング構築・広告宣伝費 1,400千円 ・木工房運営スタッフ育成費 3,300千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業所得者の総所得金額（+1億500万円） ②観光消費額（+60億円） ③施設の年間利用者数（+10万人） ④里山などの整備や野生動物・植物の保全活動をしている町民の割合（+16.6%） ⑤木材ステーションにおける木材出荷額（+306万円） ⑥おもちゃ学芸員登録者数（+150人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) 令和8年6月公表予定 (効果検証) 令和8年9月公表予定

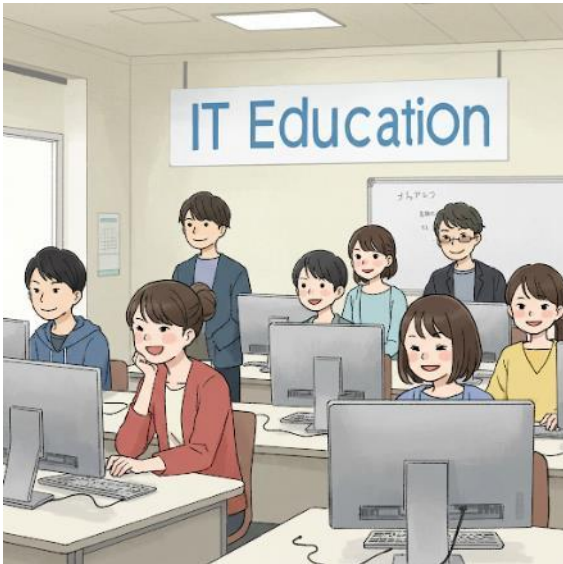
事業概要：「ホッケータウンみなかみ」スポーツ合宿拠点整備事業

新規

申請者	群馬県みなかみ町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	489,218千円 (433,623千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・既存のホッケー場を日本ホッケー協会（JHA）の公認基準を満たした公認フィールドとして再整備することにより、スポーツを核に観光・教育・地域産業を横断的に活性化させることで、交流人口の拡大と持続可能な地域経済循環を創出することを目指す。 ・宿泊業・飲食業・交通事業者等と連携した「滞在型スポーツツーリズム」を確立することで、観光の通年化と地域経済の安定的な収益構造の形成を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 既存のホッケー場をJHA基準を満たす公認フィールドとして再整備し、大規模大会や、学生・社会人による合宿を安定的に受け入れる中核施設として位置づける。さらに、隣接する総合体育館、サッカー場、野球場等を含めて「スポーツ拠点」として一体的に捉え、年間を通じた合宿誘致とスポーツ利用を可能とする体制を構築する。 これにより、宿泊業・飲食業・交通事業者等と連携した「滞在型スポーツツーリズム」を確立することで、観光の通年化と地域経済の安定的な収益構造の形成し、担い手世代の定着と関係人口の拡大を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・事業を推進するため体制を整備（旅費・報償費）300千円 ○拠点整備事業 ・人工芝グラウンド再整備工事 433,323千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+50億円） ②観光入込客数（+40万人） ③ホッケー競技公式大会の開催数（+8回） ④ホッケー場の利用者数（+3,359人） ⑤スポーツ施設の利用者数（+9,131人） ⑥スポーツ教室の開催数（+8回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	(交付金の具体的使途・実施体制) 令和8年6月公表予定 (効果検証) 令和8年9月公表予定

事業概要：明和町イノベーションアカデミー～未来を創るIT人材を育てる～

継続

申請者	群馬県明和町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	87,400千円 (27,200千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	課外事業でのIT教育を実施し、プログラミングなどを通して論理的思考力を高める。 独自の教育モデルに魅力を感じた子育て世代の移住定住を促進する。 生涯学習事業としてのリスキリングを促し、IT、金融、語学に関するリテラシーを高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本事業は、IT教育を核とした地域づくりを通じて人材育成と地方活性化を目指すものである。小中高生向けには、高度IT教育を課外授業として実施し、プログラミングを通じて主体性・思考力・科目横断的な学びを育成することで、移住・定住促進につなげる。 全世代向けのリスキリング講座を通じて企業のIT化支援や住民のスキル向上を進め、生涯学習環境の整備と地域全体のデジタル力向上を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○児童・生徒・学生向けの高度IT教育 ・プログラミング講座（委託料）：8,000千円 ・町内外へのプロモーション費用（広告宣伝費）：6,000千円 ○全世代・町内企業向けのリスキリング事業 ・リテラシー向上に向けた各種講座の実施（委託料）：2,000千円 ・語学学習アプリの活用（委託料）：5,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数（+55人） ②プログラミングコンテスト等での入賞回数（+6回） ③IT知識を活用して課題解決に取り組んだ事業アイデアの数（+3個） ④首都圏における明和町の知名度（+8%） ⑤マイナンバーカードを活用した各種申請書のコンビニ交付率（+5%） ⑥まちが開催したIT・リスキリング講座の受講者数（延べ人数）（+765人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.meiwa.gunma.jp/life/soshiki/seisaku/Academy/3584.html

事業概要：なかさと公園キャンプ場等整備事業

継続

申請者	群馬県千代田町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	981,851千円 (882,521千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	第一三共なかさと公園内にオートキャンプ場、グランピング施設、ウォーターアクティビティ等を整備し、観光客数や観光消費額の増加を図る。利根川での水上アクティビティの利用を促進する取組、町の特産品等の販売、植木の里などの地域産業との連携により地域の経済循環を高める。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光客誘致により地域活性化を図るため、グランピング施設、オートキャンプ場、水上アクティビティ、全天候型物販施設等を第一三共なかさと公園内に整備（新築）する。 利根川近くに位置しているなどといった地域資源を生かし、通過型観光でなく、滞在型観光を推進することで観光消費額の向上を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・グランピング施設整備 267,260千円 ・キャンプ場整備 304,736千円 ・全天候型物販施設等付帯施設整備 272,025千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+7,683千円） ②地域における観光入込数（+3,010人） ③SNS投稿数(Instagram)（+560件） ④全天候型施設での物販売り上げ（+1,800千円） ⑤グランピング施設宿泊組数（1,003組） ⑥オートキャンプ利用組数（700組）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.chiyoda.gunma.jp/kikakuzaisei/kikaku/27.html